

## 「ビスマスの結晶づくり(1)」

注文した「金属ビスマス」が届きました。受け取った宅急便は、ずっしりと重く、さすが元素番号 83 番です。あと 1 個元素番号が多かったら、放射性物質です。開封すると、ピノ(チョコアイス)みたいな形の地金(というよりはチップ)がたくさん入っていました。



「ビスマスチップ」

ずっしりと重く、このまま絵を描くときの文鎮にちょうどいい感じです。



溶融して鑄造したのでしょう。すでに表面に酸化膜の虹色(アワビの裏側のような色)が見えます。

いきなり美しいビスマス結晶を作れるとは思えないので、練習を兼ねて、融解してみることになりました。融かすだけでは面白くないので、私の得意な化石の模型を作ってみました。



まずはチップ4個（150グラムぐらい）を融かしてみました。錫を融かすのと同じ方法です。アルミのお皿の形を変えて、「流し口」や「ペンチの持ち手」を作っています。ガスバーナーで直接熱しています。水分は禁忌です。水が1滴でも入ると、水蒸気爆発を起こします。バーナーにかけて、ほんの数分でターミネーターⅡになります。融け方は錫とそっくりです。



これを化石の型に流し込みます。その様子は、次回紹介します。

（お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋）